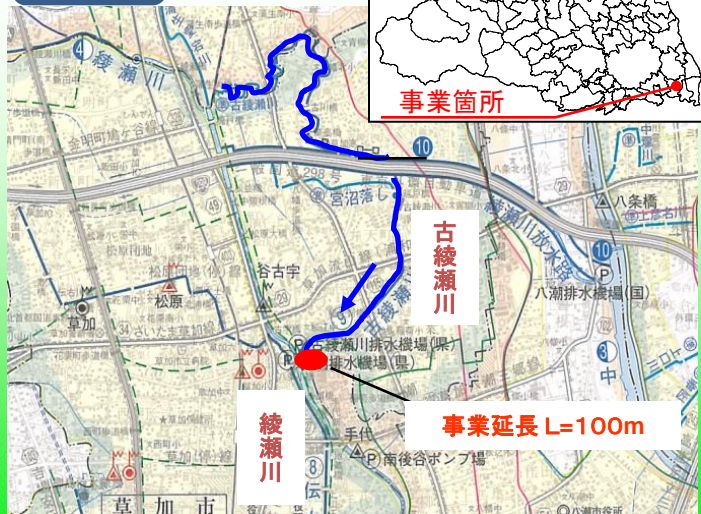


位置図



事業概要

開始年度 平成22年度
 事業延長 L=100m (W=30m)
 事業内容 ビオトープ整備工
 樋管工、
 園路広場工
 植栽工 1式

地域の声

- ・朝夕の散歩ができるようになった。
- ・池の鳥や植物を観察する楽しみができた。

事業経緯

古綾瀬川ワーキング会議

- ・第1回 (H22.7.5)
- ・第2回 (H22.11.5)
- ・第3回 (H23.1.26)

測量・設計 (H22.8~H23.3)

工事 (H23.12~H24.10)

検討会メンバー

松江中央町会、稲荷町綾瀬川自治会、草加環境推進協議会、葛西用水美化促進協議会、国土交通省、草加市、県



地域活動

- ・園路広場のゴミ拾い
- ・観察会などビオトープ池の活用

整備の状況



整備前



整備後

雑草が繁茂して、近寄りづらい (H23.11撮影)

池と広場ができ、人と生物の居場所ができた (H24.11撮影)

整備テーマ
ポイント

都市部に貴重な水辺空間の創出

- ポイント①: 都市部に残る貴重な旧河川敷を最大限活かした整備
- ポイント②: 旧河道はビオトープ整備により自然環境を創出
- ポイント③: 高水敷は、地元が多目的に使える広場を整備

★: ビューポイント

多目的に利用できる広場の整備

高水敷に地域の人々が多目的に利用できる広場を整備することにより、地域住民の交流が図られました。



自然環境観察をするビオトープ池

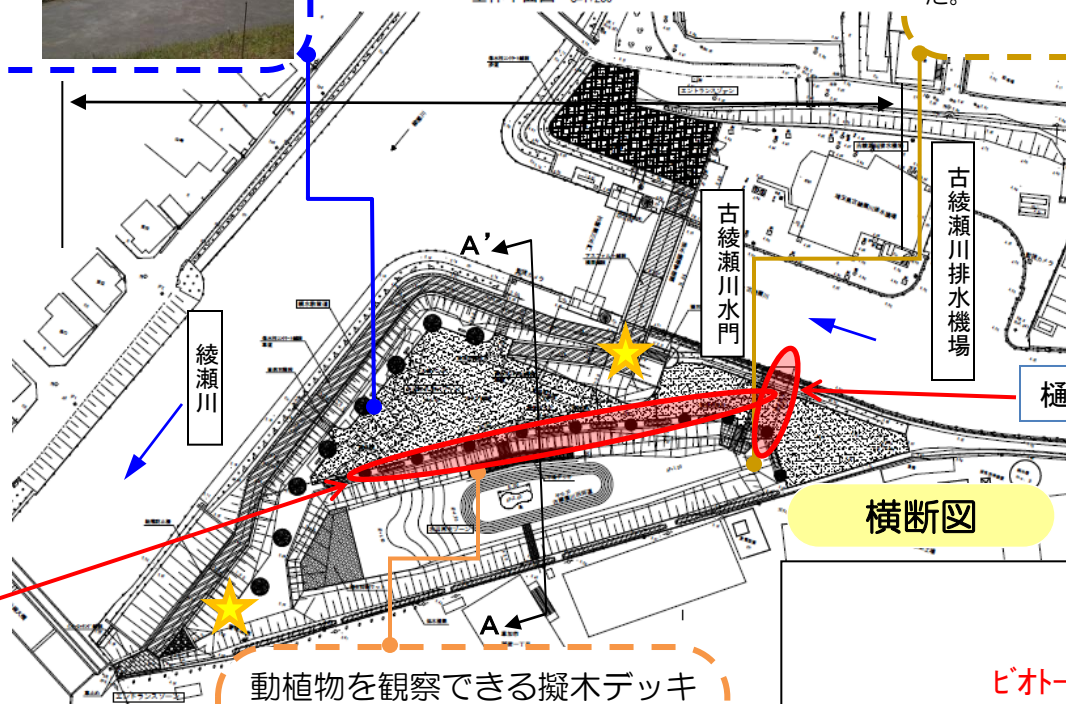
旧河川敷を利用したビオトープを整備し、自然環境観察など水辺に近づきやすい空間を創出しました。



工事延長 L=100m

全体平面図 S=1:250

平面図



横断面図

A-A'

植栽工(つつじ)1式

動植物を観察できる擬木デッキ

ビオトープ池には動植物を間近で観察できるように擬木デッキを設置しました。



ビオトープ整備

植栽

修景施設整備

